

令和4年度 1人1台端末の活用による実践事例

学校名		岡山県立岡山南高等学校	
実践者等		木下 淳之	実践日 令和4年5月18日
実践場面 <small>(教科・科目(単元名)、学校行事等)</small>		商業・経済活動と法(権利・義務とその主体)	
対象生徒(学年等)		3年生 商業科	
育成を目指す資質・能力		<input type="checkbox"/> 知識・技能 <input checked="" type="checkbox"/> 思考力・判断力・表現力等 <input checked="" type="checkbox"/> 学びに向かう力・人間性等	
分類	授業中	<input checked="" type="checkbox"/> クラウドやアプリの活用 <input type="checkbox"/> デジタルデータの保存 <input checked="" type="checkbox"/> 思考やデータの可視化 <input type="checkbox"/> データの共有や共同編集 <input type="checkbox"/> 対話を充実させる活用 <input checked="" type="checkbox"/> 思考を促す活用 <input checked="" type="checkbox"/> 表現を充実させる活用 <input checked="" type="checkbox"/> 課題のやり取りと評価の支援 <input checked="" type="checkbox"/> 効率化や省力化 <input type="checkbox"/> その他()	
	家庭学習	<input checked="" type="checkbox"/> 振り返り <input type="checkbox"/> 探究 <input type="checkbox"/> 反転学習 <input checked="" type="checkbox"/> 補習・定着	
	実践の内容		
【授業】 (1) 教科書を読む <ul style="list-style-type: none"> ・ 重要用語や重要個所に下線を引ながら読んでいく。 ・ 教科書の事例以外にも、権利と義務の身近な事例を挙げて解説を加える。 (2) 教科書の練習問題を考えさせる <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常の法律行為を考えてみる問題について、<u>ホワイトボードアプリ(Jamboard)を利用して解答する。</u> ・ <u>最初はボードの1枚目に生徒の判決を付箋で貼り付け、多数決を取る。</u> ・ <u>次にボードの2枚目に判決理由を付箋で貼り付け、それぞれの考えを共有する。</u> ・ 最後に正解の判決を発表し、どの判決理由が正しいのか商業法規便覧と教科書で振り返り、法律の規定から確認をする。 (3) まとめをする。 (4) 本時の振り返り <ul style="list-style-type: none"> ・ 振り返りの入力を伝え、次時までの家庭学習での課題を伝える。 		 	
【本時と家庭学習との連動】 (本時前) 問題集の「学習の要点と確認」で用語を確認し、答えてくる。 (本時後) 家庭学習の課題として、用語の暗記と法律を理解させるために、 <u>スプレッドシートの入力内容からGASによって自動生成した小テストで問題を解き、直後のフィードバックで理解を行う。</u> 暗記や理解が不十分な生徒は、 <u>繰り返し問題を解く。</u>			